

自己学習能力を育てる
- 社会人としての勉強方法を身につけるには -

開倫塾
塾長 林 明夫

1. はじめに

人間の幸せとは何かを考えると、「心静かに時間を過ごせることである」と答えざるを得ない。「心静楽千年」(心が静かであれば楽しみは千年つづく)という韓国の慶州にある仏国寺で買い求めた書にある通りと思う。しかし、変化の激しい現代社会を心を静かに過ごすためには、身に付けなければならない能力が数多ある。その中で、最も大切なものが、今回のテーマである「自己学習能力を育てる」ことであると思う。では一体「社会人としての勉強の仕方を身につける」ためには、どのようにしなければならないか私の考えを以下述べて頂くので、「みにむ」の読者の皆様もどうか自分のこととしてお考え頂きたい。

2. 明確にテーマを決め最高レベルと思われる先生について徹底して勉強し続けること

何を当面勉強するかについて明確に目標を定めることが第一に大切である。JRの足利駅に行くだけでは目的地には到達しない。目的地までの料金の切符を自動販売機で買っただけでも目的地には到達しない。目的地を明確に決め、目的地の方向に行く電車に乗らなければならない。多くの人々の生き様を見てみると、自動販売機でとりあえずの切符を買って、たまたまた来た列車に飛び乗っただけの人が多いの気付く。たどり着くべき目的地は明確に決めること。前橋に行くのに、小山行の列車に乗ってはならない。

* かなり長い時間をかけてこれでやるのだと決めたら、脇目もふらずゴールを目指すべきである。不況だから何事にも慎重にと、不況を理由に仕事自体の目標を明確に定めず従って、新しい試みや、創意工夫を何もしない人が多い。どのような不況におそわれている仕事でも目標を持ち創意工夫を積み重ねれば必ず生きる道は見出せる。不況を理由にあきらめるその心構えこそが全体の伸びを抑え込む一番の原因であることを知るべきだ。「自己責任の原則」「自助努力」「自業自得」という言葉の意味を「明確なテーマや目標の設定」とからめて深く考えるべきと思う。

テーマや目標が明確に決まったら、あとは「最高レベルと思われる先生について徹底的に勉強しつづけること」以外にない。

(ア)どこに行けば最高レベルの先生に会えるのか。先生を選び間違えると一生の損害となる。どこに行けば自分の追い求めるテーマについての最高レベルの先生に出会えるのか、ありとあらゆるアンテナをはりめぐらして探し求めること。「最高レベルの先生」は「幸福の青い鳥」であるからだ。足利市にいなければ両毛地区、両毛地区にいなければ、栃木県や、群馬県。自分の住む県にいなければ東京を含む関東地方。それでもいなければ日本全国。日本にいなければ世界中、地の末までも、最高レベルと思われる先生探しをすべきと思う。

* 「先生なんかいない。自分自身でやればよい。」と考える人は、それはそれでいいとは思いますが、

自分で考えるとすべてがゼロからの出発、人類初めての実験なので、試行錯誤や失敗・挫折の連続で目的地まで到達できないことが多い。地図や乗り物を自分で作りながら目的地に到達しようとするのと似ている。最高レベルの先生ほど、ありとあらゆる努力をしつづけてレベルを上げてきているので、ついてきちんと勉強しさえすれば、生徒にとっては、まわり道や挫折が最も少ない。どのような分野でも、よく調べてみれば最も合理的であり、学問体系にもなっているのが最高レベルの先生である。

* 自分の目指す分野について、専門と思われる人に 10 名インタビューし、専門と思われる雑誌を売っているものから順に 10 種くらいを一年分目を通せば、大体この人が最高レベルの人であるとの推測はつく。あとは、その先生の近くに行き、その先生のもとで教えを受けている何人かの人からお話を聞き、本当にそうなのかどうかを確かめればよい。試みに、その先生から半年から一年くらい教えを受けることも大事である。(1 回や 2 回教わったくらいでは本当のところはよくわからない。一生かけたお付き合いをさせて頂くのだから、半年や一年はとりあえずお教えを授かることが大事である)。

(イ)最高レベルの先生が見つかったらその「先生について徹底的に勉強しつづけること」。「勉強のための費用は自分で出しつづけること。」会社の代表であれば会社のために勉強しつづけるのであるから会社で費用を出すこと当然であるが、個人の能力を開発するのであれば「身銭」を切ることが最も大切である。一人の先生につくために 1 ヶ月 10 万円の投資を 10 年間すれば 10 年で 1200 万円になるが、その「果実」は 1 億 2 千万以上の価値あるものとなって返ってくる。マージャン・パチンコ・ゴルフ・カラオケ・ファミコン・TV 等で時間を過ごすのもよいが、全精力を一人の最高の先生のもとでの勉強に費やすのもそう悪くはない。まして自営業者、専門職の人、会社経営者や経営幹部であれば、この不況期に自分の職業に直接関係のないことに時間やお金を費やすことは、会社全体や部下や自分を取り囲む組織全体、自分の将来にとっても、もったいないことであると思う。旅費・交通費・セミナー代・資料代に、使えるお金の大半をつぎ込み、最高レベルの先生と一日いや一時間でも多く接してられるように努めるべきと思う。

(ウ)最高レベルの先生は、たえず頭がフル回転しているので最初の 2 ～ 3 年は何を言っているのかさっぱり判らないことが多い。先生のおっしゃることは一言でも多くノートに取り、テープやビデオの収録が許されているときには 1 秒でも逃さず撮らせて頂き、次にお会いするときまでに、前回の分を何回・何十回も視聴しなおし、ノートを読みなおし、必要なことはわかってもらわなくてもすべて暗記することが最も大切である。相手は日本一、いや世界一のレベルの大家なのであるから最初から全部わかろうというのが無理なハナシである。5 年目、10 年目でようやくわかりかけたというのが大家との接し方である。10 年を目標に、文字通り命懸けでその先生の足元までとりあえず追いつくことを目標にするとよい。追い越すのはもう 10 年かけてやること。そのくらい、素直に謙虚に、礼節をもって先生に接すると、めきめきと実力が身に付くこと、どのような分野でも間違いはない。

* 何の勉強もしないでゴルフやカラオケ・ファミコン等にうつつを抜かしている「一般の人」と、4 ～ 5 年後比べると、比べものにならないほど差がついている。一対百どころか、一対千くらいの差も出る。何しろ片方は遊び呆けて何の努力もしないのに、もう片方は最高レベルの先生に命懸けについて勉強をしつづけているのだから、差が出るのは当たり前と言える。同じ医者にかかるのに、毎週のようにゴルフばかりしている人にかかった方がよいのか、休みの日は日本一と呼ばれ

る先生のところで何年も修行をしつづけている先生にかかった方がよいか、患者が一番よく知っている。同じ英語の先生に教わるのに、大学を出たきり何の勉強もせずボートと過ごしている先生に教わるのがよいか、毎週のように研修会に出て教育技術の向上に努めている先生に教わるのがよいか、生徒は知っている。同じようなお店で買い物をするについて、休みの日は一日中アウトドアスポーツに明け暮れしている店主の店で買い物をするのがよいか、どうしたら現在価格の2分の1ないし3分の1で、現在以上の品質のものが、トータルコーディネーションが簡単にできる状態でお客様に提供できるかを最高の先生について毎週研究しつづけて、毎週視察をしつづけている店主のお店で買い物をするのがよいか、お客様は知っている。

3．おわりに

「心静かに時を過ごすこと」ができるのは、このような勉強をしつづけてはじめて可能なのではないだろうかと思う昨今である。

勉強の方法・自己学習の方法を自分なりにマスター、実際にそれをやってみること。心の平安、幸せはそのようにしてつかむしかないとえる。

11月から12月末までかけて新年の行動方針を考えつづけて、1月1日までにまとめ上げることが大切と思う。その際には是非、最高レベルの先生について、とりあえずこれから10年間学び続けるという一項目を入れて頂きたくて今回の「みにむ」は書かせて頂きました。